

アルファ・ウイン 企業調査レポート

シーシーエス (6669 東証 JQS)

発行日：2017/11/7

アルファ・ウイン 調査部

<http://www.awincap.jp/>

● 決算速報

◆ 会社概要～画像処理用 LED 照明市場のリーディングカンパニー

- ・シーシーエス（以下、同社）は、画像処理用 LED 照明市場で国内外ともにトップシェアを握るリーディングカンパニーである。主力の MV（マシンビジョン）事業では、生産ラインにおける外観検査、位置決め、文字認識等の工程で使われる LED 照明装置及びその制御装置の開発・製造・販売を行っている。顧客毎に最適な照明法を提案できるライティングソリューションが同社の強みである。
- ・2016 年 5 月に TOB により、オプテックスグループ（6914 東証一部）の子会社となった。短期的には購買力の向上、中期的には製品開発における効率化等が見込まれる。

◆ 2017 年 12 月期第 3 四半期決算～前年同期間比で 15%増収、23%営業増益と好調

- ・同社の 2017/12 期第 3 四半期累計期間（2017 年 1～9 月期、以下、3Q）の売上高は 6,606 百万円、営業利益は 1,157 百万円であった。決算期変更（2016/12 期より 7 月→12 月）を考慮した月次決算に基づく前年同期間（1 月～9 月）との対比でみると、売上高は 15.0%増、営業利益は 23.0%増（月次決算で未処理の賞与引当金等の費用 184 百万円を除外すると 42.7%増）と大幅に拡大した。
- ・国内 MV 事業は電子・電気・半導体向けを含め全般的に好調で、前年同期間比 24%増（2016 年 1～9 月 3,023 百万円→2017/12 期 3Q3,741 百万円）となった。レンズ・カメラを含むシステム提案や実験室の活用によるソリューション営業及び実験室の増設が奏功した。海外 MV 事業は同 4%増（同順 2,116 百万円→2,201 百万円）に留まった。中国事業の戦略見直し（後述）の影響を除くと欧州、アジア向けが好調で同 14%増であった。UV ビジネス（紫外線照射による電子部品の接着や印刷物の乾燥に LED 照明を応用）やアグリバイオビジネス（植物工場向けにフィリップスの照明を販売）で構成される新規事業は、同 10%増となった。

◆ 2017 年 12 月期通期予想を据え置いた

- ・同社は期初に策定した通期業績予想を 6 月 20 日に増額修正したが、当時の売上高 8,250 百万円、営業利益 1,230 百万円、経常利益 1,210 百万円、当期純利益 810 百万円を据え置いた。為替の想定は、1 米ドル＝110 円（3Q111.89 円）、1 ユーロ＝120 円（3Q124.58 円）である。
- ・通期業績予想に対する 3Q 実績の進捗率は、売上高が 80.0%、営業利益は 94.1%、経常利益 92.0%、当期純利益 99.9%である。通期業績予想を据え置いたのは、3Q の進捗率が高いものの 2017 年 10～12 月の売上高見通しが現時点では不透明であるためとしている。

◆ 新規事業～足元の成長持続を目論む

- ・同社は 2017 年 6 月に 100%出資子会社を中国に設立して MV 製造・販売事業の立て直しに着手した。ローカルブランド CCS China を立ち上げ、価格、品質の両面で現地ニーズに対応する。9 月から営業を開始したが、将来は日本や欧米への輸出拠点とすることも検討している。
- ・また新規事業の一つである UV ビジネスの成長にも尽力している。同社の UV ビジネスの売上高は 2013 年 8～11 月では 25 百万円であったが、2017 年 7～9 月には 107 百万円と成長してきた。トレンドフォー

ス社調べによると世界の UV-LED 市場は、2017 年 2 億 88 百万ドルから 2020 年には 5 億 26 百万ドルに拡大する、としている。

・こうした先行きの明るい見通しの市場に対し、同社は MV 事業と同様に顧客や材料メーカーと共に実験しながら試行錯誤の繰り返しで製品を完成させることを強みとして成長を持続させる構えである。当面は UV を照射することにより液体が個体に化学変化する原理を利用し、パネルなどの接着・封止、液晶と基板を接着させるなどの機能を持つ UV 照射器を同社の収益の柱とすべく、研究開発と人材の拡充に注力している。

【 6669 シーシーエス 業種：電気機器 】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2015/7	6,951	26.2	773	37.8	760	54.5	772	93.7	186.52	698.62	20.0
2016/7	7,376	6.1	904	17.0	880	15.9	615	-20.4	137.93	782.25	22.0
2016/12 変	3,103	9.1	258	-27.6	236	-32.2	150	-46.5	27.78	801.69	10.0
2017/12 CE	8,250	11.8	1,230	36.1	1,210	37.5	810	31.7	149.51	—	30.0
2016/12 1-9月	5,743	—	940	—	845	—	788	—	—	—	—
2017/12 3Q	6,606	15.0	1,157	23.0	1,113	31.7	809	2.8	149.50	949.12	—

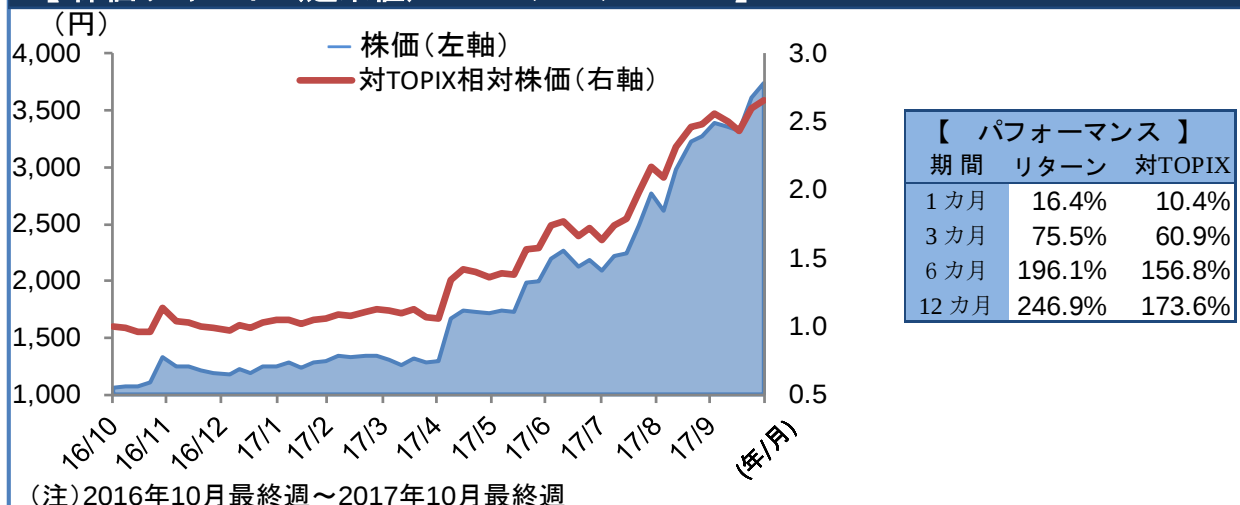
(注) CE：会社予想、2016/12期は5カ月の変則決算、2016/12期、2017/12期3Qの前期比は前年同期間、2017/12期の前期比は2016/7期との対比を記載

【 株価・バリュエーション指標：6669 シーシーエス 】

項 目	2017/11/2	項 目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株 価 (円)	3,745	前期実績	27.2	4.8	0.6%	16.0%
発行済株式数 (千株)	5,417	今期予想	25.0	—	0.8%	20.1%
時価総額 (百万円)	20,290	前期末自己資本比率	62.9%	前期ROE	15.1%	

(注) バリュエーション指標の前期実績は5カ月の変則決算を避け2016/7期数値により算出、予想は同社の業績予想に準拠

【 株価チャート (週末値) 6669 シーシーエス 】



決算メモ

2/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

ディスクレマー

アルファ・ウイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。